

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812011	事務事業名	動物園管理運営事業費		
担当部・課名	動物園	評価者(課長)	三浦英樹	評価責任者(部長)	弘中基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	徳山動物園	事業の目的(意図)	周南市の貴重な情報発信・交流拠点として、動物園に年間30万人を超える来園者を迎える体制を確保することで、その役割を果たすことができる。
事業の内容(手段)	【事業概要】動物園の管理運営 【主な内容】入園者受付、駐車場整理、予算管理執行、臨時職員の雇用、施設の維持・保守点検、広告宣伝、入園者の増加対策、その他事業の増収対策		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
徳山動物園の入園者数	年間延べ人数	人	人	28年度	320,000	300,000	300,000
				29年度	266,680	282,505	
				30年度	83.3%	94.2%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	80,177	87,577	84,339	88,758
うち一財		千円	48,275	47,405	24,408	27,521	25,000
(決算額)	直接事業費	千円	79,027	64,373		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	52,721	31,200		新設の新ゾウ舎にかかる維持費である光熱水費が、新たに増額となったため。	
正職員人件費	千円	22,494	27,851				
人工数	人	3.07	3.78				
	支出コスト	千円	決) 101,521	決) 92,224			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	入園者数は、昭和35年の開園以来、年々増加していたが、徐々に減少した後、増加と減少を繰り返している。平成29年度は、平成29年10月に入園料改定を行い、自然学習館・野鳥観察所をオープンした。入園者数は、前年度比の106%増となった。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 入園料収入は、平成29年10月から半年の期間でも大幅な増収となり、改定効果があった。そのため、引き続き、入園料以外のその他の事業収入の増収に向けた取組みが必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	経常経費(人件費を除く)を入園料とその他事業収入で賄うため、①入園料値上げの効果を活かすために、パスポート購入者増加のための取組み ②入園者の利便性が向上するサービス(軽食ブース・売店の新装による相乗効果)の実施を行う。	評価責任者コメント	入園料の改定による効果を高める取組みとして、年間パスポートの継続購入の働き掛けや新装した売店、軽食ブースとの連携などを行う必要がある。併せて、新駅ビルが完成したことにより、駅と動物園を結び人の流れを呼び込む交流拠点施設としての役割を果たすことも重要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
①新ゾウ舎のオープン(2019年4月26日予定)による一年間を通しての入園料収入増の効果を見込む。 ②広告宣伝委託料を増額しない代わりに、年100回以上のマスコミへの露出を維持するため、魅力的な行事の企画と積極的な情報発信を行う。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設管理業務	観光交流施設として入園者の増加を図る。	園内施設管理事務(予算管理、臨時職員雇用、駐車場整理)	36,565 否	0.60	0.50	
②	窓口入園券発売業務	入園者に快適に過ごしていただくための対応を行う。	入園券の発行、入園案内、観光情報等の提供、入園料収入以外の財源の確保	1,135 否	0.27	3.40	
③	環境整備業務	観光交流拠点として、快適で安全な施設の維持管理を行う。	園内環境の整備、管理実施	16,458 否	0.92	4.55	
④	各種契約業務	安全な施設の維持管理を行う。安心安全な低コストの飼料を安定的に確保する。	施設管理等の委託契約、堆肥化プラントの活用	7,840 否	0.20	0.00	

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
⑤	入園者増加対策業務	動物園全体として魅力ある取り組みを広報することで、来園者の増加を図る。	記念行事等の企画・開催、行事等の広報活動<課題>効果的な情報提供のためのシステムの確立	756	0.46	0.00	
				否			
⑥	食堂・売店の改修・リニューアル	売店・軽食ブースの改修を行い、入園者の利便性を図るとともに増収につなげる。	食堂・売店の改修、新設置<課題>地域性のあるオリジナルのメニュー、商品の販売	1,358	0.70	0.00	
				否			
⑦	入園料以外の収入増対策業務	平成29年10月1日より入園料の改定を行う。	入園料の改定<課題>入園料以外のその他事業の実施による増収、計画的な入園料の設定と検証	119	0.30	0.00	
				否			
⑧	地域・庁内・企業等連携業務	園内(職員)と園外(市民)に分けて、ネットワークを拡大し、「共に。」を実現していく。	大道理地区、岐山地区との連携事業の実施、中心市街地関係5課による共催事業、競艇事業部との連携	142	0.33	0.00	
				否			

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812014	事務事業名	動物園教育普及事業費		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三浦 英樹	評価責任者(部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	「周南市を含む近隣住民」。特に徳山動物園に入園した方、動物園の情報を得た方	事業の目的(意図)	幼児・児童をはじめとする入園者等が「自然環境」・「いのち」について体験し、学ぶことができる。
事業の内容(手段)	【事業概要】子どもたちが、生き物について学習し体験する機会を提供する。 【主な内容】各種のコンクール・歳時記的行事・企画展の開催、骨格標本やはく製など標本資料の収集、総合学習プログラムの実施		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					教育イベントの延べ参加者数等	参加者数等	人	目標値	15,000	15,000	15,000
								実績値	14,379	15,322	
								達成度(%)	95.9%	102.1%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	900	1,741	1,180	1,376	1,200
		うち一財	千円	0	0	0	0	0
	(決算額)	直接事業費	千円	718	1,321		対30年度増減理由	対31年度増減理由
		うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費		千円	25,571	18,641			
人工数		人	3.49	2.53				
支出コスト		千円	決) 26,289	決) 19,962				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	当初は、「動物画コンクールなどの教育的事業」、次に、「学校との連携の中での総合学習や職場体験、インターンシップ」、その後、「動物園学習支援ボランティアによる特色ある事業の提供」を段階的に実施する。今後も、動物園が命と接する機会を提供していくことは、重要と考えている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 新設された徳山動物園初の屋内施設「自然学習館」を拠点に、幼児、小学校低学年の利用が主となる遠足だけでなく、高学年にも新たな総合学習の場となるよう、年齢層の利用拡大を図る。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	①業務実施手法の見直しを図り、わかりやすい業務体系を整備する。②職員の人手不足を補うために、職員とボランティアの協働による取り組みの構築など新たな支援体制の仕組みづくりを検討する。③秋の目玉イベントとして、マスコミや企業と連携し、集客力を持つ新しいワンデイ型イベントを企画する。	評価責任者コメント	平成29年10月に待望の屋内学習施設である自然学習館、県内初のウォークイン型の野鳥観察所がオープンしたことで、動物園が命や環境学習の場として、本格的にその役割を果たさなければならない。そのためにも、総合学習のプログラムの整理や飼育員の生の声を届けるような取組みが必要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
動物園リニューアルに伴う魅力拡大の一環である環境教育(インタープリテーション)活動の充実を図るため、有償ボランティアの費用弁償を予算化する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	各種コンクール実施	動物をじっくり観察する機会を提供し、動物への興味を喚起する。	絵画コンクール、粘土工作コンクールなどの主催開催	78		0.15	0.10
				否			
②	動物園ボランティアの調整	ボランティアによる学習支援を促進させ、学習効果の向上を図る。	ボランティアの実施、研修、連絡調整等延べ	7		0.25	0.00
				否			
③	歳時記イベント実施	季節ごとに動物園の話題を、ニュースとして届くように行事を行う。	さまざまな歳時記的イベントや時代に対応した新しい事業の実施	322		0.79	0.20
				否			
④	学習体験関連業務(職場体験・実習など)	いのちの学習や職業感の醸成の機会を提供する。	実習の受け入れ、ゲストティーチャー、講演、サマースクールなどの実施	567		0.64	0.00
				否			
⑤	展示・解説・資料管理等学芸業務	学習に供する動物の標本収集や整理管理を行う。	剥製の作成、骨格などの標本作製、標本の整理管理 作製0個、貸出10回	347		0.34	0.00
				否			
⑥	ミニZOO・ちょこつとアニマル	動物とのふれあい体験、エサやり体験や動物体験を提供する。	ふれあいミニ動物園の派遣、団体を対象とした動物体験の受付実施	0		0.36	0.00
				否			

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812017	事務事業名	動物園飼育事業費		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三浦 英樹	評価責任者(部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	徳山動物園の飼育動物	事業の目的(意図)	展示動物を健康に飼育管理することで、動物園が維持される。動物の繁殖を進めることで、動物の子育ても観察できる。
事業の内容(手段)	【事業概要】動物を健康的に飼育管理するとともに、動物の繁殖や購入等により、継続的展示の状態を確保する。 【主な内容】飼育・衛生管理、診療・治療、繁殖推進、調査研究、飼料の確保や調達、動物の調教や飼育技術の向上、動物の購入		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	繁殖推進種繁殖率	繁殖推進種繁殖種数/繁殖推進種数	%	目標値	29	30	30
			実績値	36	30		
			達成度(%)	124.1%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	33,911	35,533	41,018	37,353	36,000
(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	0	
直接事業費	千円	32,445	31,947		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額) うち一財	千円	0	0		飼料代と前年度の臨時的経費が、削減されたため。		
正職員人件費	千円	61,913	72,501				
人工数	人	8.45	9.84				
支出コスト	千円	決) 94,358	決) 104,448				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	動物の飼育繁殖は、動物園の維持管理において不可欠である。特に、ゾウなどの希少動物は、適正に飼育されているか注目されている。このため、現場ではチームによる飼育担当制を導入し、毎年、作業体制の見直しを図りながら業務の遂行を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 リニューアル事業では、現在飼育している動物のうち、一部は飼育を予定していない動物があり、今後、その調整を図る必要がある。飼育予定の動物のうち、手に入りにくい動物についてはその対策が必要となる。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	今後の動物の購入・導入については、厳しい現状も含めて、購入可能な動物種については、「ぞうさんの夢基金」の効果的な活用、導入については、プリーディングローンの適切な運用をすることで、機会をとらえた動物の確保を進めてく。		評価責任者コメント	飼育員の技術を向上させ、キリンを始めとした飼育動物の繁殖に取り組む。特に、市民からの期待値が高いゾウについては、令和元年6月に新ゾウ舎が完成するため、旧舎からの移送を無事終了させて、子どもの繁殖に繋げることが、重要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
動物の飼料の搬入・流通ルート等を見直し、他団体へのエサ提供の依頼を行い、2年間で約300万円の削減を行った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	動物の飼育管理業務	飼育動物を健康的に飼育管理する。	動物舎の清掃、給餌、動物観察	6,697 否	6.31	1.80	
②	飼料準備に関する業務	飼育動物の飼料を予算内で確保する。	飼料の発注管理、適正給餌	20,819 否	0.53	0.00	
③	動物舎の施設維持管理業務	飼育施設の維持管理を行い、動物の脱出や事故を防止し、安全な飼育管理を行う。	施設の点検、修繕	2,263 否	1.08	0.30	
④	飼育に関する調査研究業務	飼育技術を向上する。	飼育技術に関する研究や調査	433 否	0.69	0.06	
⑤	動物移動・飼育許可の調整業務	動物飼育に関する法手続きを適切に実施する。	随時申請など	957 否	0.27	0.00	
⑥	獣医診療業務	動物を健康に保つように獣医衛生管理や診療治療を行う。	診療、検査、投薬、記録	778 否	0.65	0.00	
⑦	動物の仮設舎への移動	ゾウ舎への整備を始めるため、建設予定地内で飼育している動物を移転させる。	リニューアルによる飼育動物の移動	0 否	0.31	0.00	

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812032	事務事業名	動物園魅力拡大「ズー夢アップ21」実施事業費		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三浦 英樹	評価責任者(部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	「周南市を含む近隣住民」特に徳山動物園に入園した方、又は、動物園の情報を得た方	事業の目的(意図)	周南の里ふれあいゾーン(るんちゃ♪るんちゃ)での魅力的なソフト事業の展開により、更なる入園者数の増加を図る。
事業の内容(手段)	【事業概要】体験プログラムの実施や魅力ある展示、時代に即した情報発信を行う。 【主な内容】全天候型小動物ふれあい、体験プログラム(新体験プログラム、ぱくぱくタイム、飼育体験等)の実施、投げエサ販売、LINE等による情報発信		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	各体験などの利用者数	ふれあいやぱくぱくタイム、エサやりや夜間開園など参加者の実数	人	目標値	190,000	220,000	250,000
			実績値	241,069	274,265		
			達成度(%)	126.9%	124.7%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	14,398	16,173	15,592	16,047	16,200
(予算額)	うち一財	千円	1,508	0	0	0	
直接事業費	千円	13,780	14,727		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	6,256	0			
正職員人件費	千円	26,890	39,787				
人工数	人	3.67	5.40				
支出コスト	千円	決) 40,670	決) 54,514				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	多くの体験プログラムを実施したり、動物やイベントの情報を発信することで、年々、来園者と動物の距離感を縮めることができている。特に、ゾウなどの新規導入動物や「るんちゃ♪るんちゃ」の効果で、体験利用者が増加している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 近年の企画展の成功は、次の企画展への期待値が伸び、平凡なものでは喜ばれない傾向が見えているため、目新しく話題性のある企画を提案し、情報発信していく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	期待値の高い企画展、近県まで配布範囲を拡大したチラシ、絶え間ないマスコミへ露出、誘客効果の高いインフォメーションとしてLINEを使った情報提供など、集客力の高い魅力的事業を継続していく。	評価責任者コメント	「ふれあう、体験する」という新しい形の動物園の集大成として、教育的効果を十分発揮し、子どもから高齢者まで誰もが楽しめる新しい体験プログラムを開発し、展開することで、動物園の魅力の向上と入園者の増加につなげていきたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
小学生低学年向けのプログラム「キッズキーパー」を見直し、これまでの「エサやり体験」を動物がより身近に感じられるような新たなプログラムに進化させ、サービスの向上や入園者数の増加につなげる。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	るんちゃ♪るんちゃ運営業務	全天候対応型の新規ソフト事業の展開により、更なる入園者の増加につなげる。	小動物とのふれあい体験	8,886 否	0.32	1.60	
②	自然学習館・野鳥観察所運営業務	新設の自然学習館、野鳥観察所において、新たな取組みを行う。	担当職員による専門的な講義、子ども科学教室、バードウォッチング講座	39 否	0.51	0.05	
③	キッズキーパー等ソフト事業開催業務	さまざまな動物体験を実施して顧客満足度の向上を目指す。	体験プログラム(ぱくぱくタイム、フライトショー、飼育体験)の実施	1,259 否	0.42	0.30	
④	動物情報の発信業務	動物に関する情報などを、詳しくマスコミなどに提供し、大々的に広報してもらう。	マスコミへの詳細な情報の提供、取材受け入れへの調整	719 否	0.64	0.35	
⑤	投げエサの販売、3Dぬりえ等	投げエサを販売し、エサやりの体験を提供する。	投げエサの販売	2,315 否	0.21	0.65	

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
⑥	ホームページ等の維持管理	動物園情報を随時発信する。	ホームページの作成と管理、更新	135	0.47	0.05	
				否			
⑦	臨時開園(夜間開園等)の実施	付加価値を付けた開園形態で、入園者の増加を図る。	夜間開園(イルミネーションの点灯)の実施、周知	19	0.41	0.00	
				否			
⑧	ICT-ZOO事業	ICT技術を用い、新たな動物園の魅力を発信する。	ICT技術を使ったサービスの構築	998	0.32	0.00	
				否			
⑨	企画展に関する業務	話題性があり、子どもたちの生き物への理解を深めるものを企画展として開催する。	生き物の消化吸収とうんちをテーマとした企画展「うんこ展」	242	0.90	0.20	
				否			
⑩	LINE、チラシによる情報発信	入園者の誘客に直結する積極的な情報発信を行う。	イベント案内チラシの配布回数・地域の拡大、LINEによる情報発信	115	0.70	0.00	
				否			
⑪	リニューアルソフト事業	リニューアルされた施設の機能を活かす新しい体験プログラムを計画する。	リニューアル体験プログラムメニューの作成、職員育成計画の作成、ボランティア育成計画の作成	0	0.50	0.00	
				否			

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812035	事務事業名	基金管理事業費			
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三浦 英樹	評価責任者(部長)	弘中 基之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	「ぞうさんの夢基金」の趣旨に賛同いただける市内外の方	事業の目的(意図)	動物園運営に関して市民等からの財政的支援と、動物購入時における経費の平準化を図る。
事業の内容(手段)	事業のPRを含めて園内等に募金箱を設置し、募金を募り、「ぞうさんの夢基金」へ積み立てる。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	ぞうさんの夢基金	基金積立額	円	目標値	4,000,000	5,000,000	3,000,000
			実績値	4,455,634	6,433,270		
			達成度(%)	111.4%	128.7%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2	2	2	202
うち一財		千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	563	1,977		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	293	442			
	人工数	人	0.04	0.06			
	支出コスト	千円	決) 856	決) 2,419			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成24年徳山商工会議所青年部による「ぞうさんプロジェクト」の立ち上げを受けて、ゾウ導入のための募金活動が開始された。その一方で、市は「ぞうさんの夢基金条例」を制定し、今後の動物導入の財源確保を図る体制を確立した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 今後の動物購入のためには動物園を広くPRし、財源確保を図る必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	この基金の目的はゾウに限らず、これから飼育を続けるために必要な動物を購入するものであり、継続して管理を続けていく必要がある。	評価責任者コメント	動物購入における厳しい現状も含めて、購入可能な動物種については、「ぞうさんの夢基金」を効果的に活用し、適切な対応をすることで、機会をとらえた動物の確保を進めていきたい。そのためにも、「ぞうさんの夢基金」の趣旨をしっかりPRして、少しでもこの事業の賛同者を増やしていきたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
特になし。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	基金管理・受入業務	動物導入に必要な財源確保への関心を高めるため、PR等を行い、財源確保を図る。	動物園内での募金箱の設置及び募金の受入対応事務	1,977 否	0.06	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812039	事務事業名	動物園リニューアル事業費		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者(課長)	三浦 英樹	評価責任者(部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	動物園施設	事業の目的(意図)	市街地にあるコンパクトな「まちなか動物園」を活かしたリニューアル事業を推進することで動物園の魅力を上し、入園者数を増加させ、更には中心市街地との連携で交流人口を増やすことで賑わいの創出につなげる。
事業の内容(手段)	【事業概要】H29年度は南園に新ゾウ舎の建築工事を行い、北園ではペンギンエリア、広場休憩施設の整備工事を進める。 【主な内容】リニューアルに係る補助金関係事務、入札手続き、工事監理・打合せ、中間及び完了検査等、新ゾウ舎(H31年度オープン予定)の建築工事(南園)、ペンギンエリア及び広場休憩施設(H30年夏オープン予定)の整備工事(北園)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					整備進捗率(補助事業費ベース)	執行割合	%
				実績値	29.1	39.4	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	843,532	611,021	537,844	175,182
うち一財		千円	79,032	78,521	97,698	59,059	61,600
(決算額)	直接事業費	千円	434,041	584,893		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	74,571	50,110			
	正職員人件費	千円	2,491	8,031		予算の大部分が工事請負費であり、各年度で予定されている工事の金額に差異があるため。	
	人工数	人	0.34	1.09			
	支出コスト	千円	決) 436,532	決) 592,924			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成21年度に基本計画を策定し、平成25年度より整備に着手し、平成26年に北園駐車場を供用開始した。ゾウ導入に伴い、平成27年度に基本計画の見直しを行い、「るんちゃ♪るんちゃ」及び自然学習館等のオープンをし、H31年度に新ゾウ舎のオープンを予定している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 事業費が大きく、長期的なプロジェクトであることから、継続かつ事業の進捗に沿った安定的な財源確保が大きな課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	コスト削減に向けた工法や最適な工事スケジュールを組み立てる必要がある。	評価責任者コメント	動物園のリニューアル事業は、多くの人の期待を背負った夢ある事業である。るんちゃ♪るんちゃ、自然学習館・野鳥観察所を順次オープンし、毎年、動物園へ足を運んでもらうための楽しみを提供していくことが定着しつつあるが、施設だけでなく、携わる職員や提供するプログラムも進化していく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
アフリカのサバンナゾーン等の基本設計やアジアの熱帯雨林ゾーンのオープン(2021年度)に向けて、コスト削減を図りながら整備を進め、更なる魅力増進を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新ゾウ舎、ペンギンエリア整備	計画的なリニューアルを行い、動物にも人にもやさしい動物園を構築する。	北園:ペンギンエリア、広場休憩施設の整備(H30年夏 供用開始予定)、南園:新ゾウ舎建設の着手(H31年度 供用開始予定)	176,278	0.41	0.00	
				否			
②	アジアの熱帯雨林ゾーン実施設計業務	計画的なリニューアルを行い、動物にも人にもやさしい動物園を構築する。	南園:アジアの熱帯雨林ゾーンの実施設計	11,000	0.28	0.00	
				否			
③	自然学習館等整備	計画的なリニューアルを行い、動物にも人にもやさしい動物園を構築する。	北園:自然学習館、野鳥観察所、ウェルカムゾーンの整備	388,936	0.28	0.00	
				否			
④	事業補助申請関連業務等	全国初となる動物園の補助事業(社会資本整備総合交付金)を進める。	社会資本整備総合交付金の申請及び交付に係る事務	8,679	0.12	0.00	
				否			
⑤							